



【対面診療・オンライン診療】患者の疾患管理は YaDoc におまかせ

## 疾患管理プラットフォーム「YaDoc」

YaDoc は、患者の状態を医療機関と共有し見える化することで、適切なタイミングで適切な治療を可能とする、疾患管理のプラットフォームです。

オンライン診療の機能も搭載されているため、オンライン・対面、両方のシーンで活用できます。



### サービスのベネフィット

標準機能として、糖尿病・高血圧症・呼吸器疾患などの慢性疾患の管理プログラム、及び医学的エビデンスのある ePRO 問診が複数利用可能です。患者ごとに管理したい項目をカスタマイズしたり、施設ごとに、新しい問診を作成することも可能です。CSV（コンピューターバリエーション）に対応しており、医学的エビデンスを構築するためのプラットフォームとしても活用されています。

### サービスの利用事例

#### 【臨床研究：パーキンソン病管理プログラム】

- パーキンソン病患者に対し、AppleWatch を用いた症状モニタリングを実施し、必要に応じてオンライン診療・オンライン服薬指導を実施しています。
- 取得したデータは臨床研究に利用されています。

#### 【実臨床：喘息管理プログラム】

- 喘息患者に対し、ePRO 問診を定期的に回答してもらい、重症化予防につなげています。

#### 【実臨床：SAS（睡眠時無呼吸症候群）管理プログラム】

- SAS 患者に対して、オンライン及び対面にて、CPAP 治療を行っています。

#### 【実臨床：頭痛管理プログラム】

- 頭痛患者が日々の状況を記録し、それをもとに、オンライン及び対面にて頭痛専門医が診察を行っています。

### サービスのターゲットと効果

#### 【患者】

- 普段の自分の状態を記録することで、適切な診療が受診でき、重症化予防につながる。
- 必要に応じてオンライン診療・対面診療と使い分けが可能。
- 記録したデータは自分の物として保存され、他の施設にも共有できる。

- オンライン診療時は、通院時間・待ち時間を節約可能。
- 対面診療時は、自身の状態を説明する時間を節約可能。

#### 【医師】

- 適切・経時的な症例把握により、医療介入成果や正確な治療・病状の確認が可能となり、医療の質の向上が期待できる。
- 必要に応じてオンライン診療・対面診療と使い分けが可能。
- 患者からかかりつけ医として認知される。
- オンラインと対面と組み合わせることにより、患者の脱落の防止に繋がる。
- 診察時の、患者の状況把握の時間を節約可能。

### AWS 選定のポイント

- インフラコンポーネントの API が揃っており自動化が容易。
- スケラビリティが容易。
- 網羅性のある脆弱性の検知をAWSのサービス群で構築が可能。
- DirectConnectGatewayを活用した地域医療ネットワークなどの閉域網への接続。
- Systems Manager やCloudWatch を利用した運用体制の構築が容易。